

Small Talk台本②（第6時・第7時のはじめ5分）

進め方（文科省の型）：帯活動として2時間に1回。5年は先生の話聞くことを中心に、相手を替えて1～2分×2回。1回目のあとに中間指導（下の「ことばの補給」）を挟む。なりきりではなく**本当の気持ち・本当の出来事**を話す。

話題1 すきな教科（第6時）

板書：What subject do you like? [math / music / P.E. / science の絵カード]

T Hello! Look at my bag. (時間割や教科書を見せて) I like music. Music is fun!

こんにちは！先生のかばんを見て。先生は音楽が好き。音楽は楽しい！

T But... math. Hmm. Math is difficult for me!

でも…算数。うーん、先生には算数はむずかしい！（正直に言うと笑いが起きる）

T What subject do you like? P.E.? Music? Math?

みんなは何の教科が好き？ 体育？ 音楽？ 算数？

S P.E.! / Music!

（口々に言えたら十分。挙手アンケートにしても良い）

T P.E. fans, raise your hands! Wow! Thank you!

体育が好きな人、手をあげて！おお！ありがとう！

つまった子への助け舟：教科の英語が出ない子には絵カードを指さして This? と聞く。

話題2 クラスのすきなもののランキング（第7時）

板書：Our class No.1! [これまでの活動で集めた「すき」を3つ書いておく]

T Hello! Big news! Our class ranking! No.3... dodgeball!

こんにちは！発表です！わたしたちのクラスのすきなもののランキング！第3位…ドッジボール！

T No.2... ice cream! And... No.1 is... P.E.!

第2位…アイスクリーム！そして第1位は…体育！

T We know each other now! Next time is the final interview. Let's enjoy!

みんなのことがずいぶん分かってきたね。次の時間が仕上げのインタビュー（テスト）。楽しもう！

つまった子への助け舟：ランキングは第3～6時の活動シート（ビンゴ・名刺）から先生が集計しておく。自分たちのデータだと食いつきがまるで違う。



中間指導 1回目のあとに全体で（ことばの補給）

第6時：「あいての目を見てNice!と言えたペア」を紹介して全体でまね→2回目へ。第7時は次の時間がテストなので、質問の言い方（What sport do you like?）を全員で2回声に出すだけでよい。

対話を続けることば 黒板横に掲示しておく

はじめる	Hello! / How are you?
くり返す	Soccer? Me, too!（あいての言葉をくり返す）
ひとこと感想	Nice! / Wow! / Really? / Good!
たしかめる	Pardon? / One more time, please.
さらに質問	How about you? / Why?
おわる	Thank you. / See you!

先生へ

- ・第7時のランキング発表は、単元のゴール「友だちのことを知る」の回収。次の時間のテストの緊張がほぐれる
- ・Small Talkの話題は必ず「本当のこと」。作り話は子どもに伝わる（公式の型でも「実際の出来事・気持ち」が原則）